

# アプリケーションエンジニア試験(AE)

[ Application Systems Engineer Examination ]

平成13年度春期から平成20年度秋期まで

## 1. 対象者像

情報システム開発プロジェクトにおいて、プロジェクト計画に基づいて、業務要件分析からシステム設計、プログラム開発、テストまでの一連のプロセスを担当する者

## 2. 役割と業務

情報システム開発プロジェクトにおいて、業務要件を分析し、システムとして実現する業務に従事し、次の役割を果たす。

- (1) 利用者側の業務要件を分析し、要求仕様をまとめる。
- (2) 要求仕様に基づいて、新規開発・パッケージ導入などのシステム実現方法、システム構成、システム移行・運用などについて検討し、システム設計を行う。
- (3) プログラム開発要員を指導して、プログラム開発を実施させる。
- (4) 総合テストを計画し、実施する。また、システム移行及び運用テストを支援する。
- (5) 個別のハードウェア技術、ソフトウェア技術、ネットワーク構成、データベース構成、システム運用などについては、必要に応じて専門家の支援を受ける。

## 3. 期待する技術水準

情報システム開発の中核技術者として業務要件を分析し、システムとして実現するため、次の幅広い知識・経験・実践能力が要求される。

- (1) 経理、生産管理などの業務知識をもち、利用者側の業務要件を分析し、要求仕様書を作成できる。
- (2) 新規開発、パッケージ導入などのシステム実現方法の評価・選択ができる。
- (3) ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、データベースなど情報技術に関する全般的な知識をもち、必要に応じて特定分野の情報技術の専門家から支援を受け、要求仕様に合った情報システムが設計できる。
- (4) 要求仕様書に基づいて、標準的な記法によって、外部設計書・内部設計書を作成できる。
- (5) プログラム開発、単体・結合テストに際し、プログラム開発要員を指導できる。
- (6) 総合テストの計画と管理が行え、また、システム移行及び運用テストで利用者側の要員を支援できる。
- (7) 計画された品質・工程の実行管理ができる。

#### 4. 試験形式と試験時間

平成 17 年度秋期試験からの試験形式と試験時間

午前	午後 I	午後 II
9:30 ~ 11:10 (100 分)	12:10 ~ 13:40 (90 分)	14:10 ~ 16:10 (120 分)
多肢選択式 (四肢択一) 55 問出題して 55 問解答 (AN、PM と共通問題)	4 問出題して 3 問解答	論述式 (小論文) 3 問出題して 1 問解答

注意 1 平成 17 年度から午前試験の出題数を 50 問から 55 問に変更

注意 2 平成 17 年度から午前試験の試験時間を 90 分から 100 分に変更

注意 3 平成 17 年度から昼休憩時間を 90 分から 60 分に変更

平成 16 年度秋期試験までの試験形式と試験時間

午前	午後 I	午後 II
9:30 ~ 11:00 (90 分)	12:30 ~ 14:00 (90 分)	14:30 ~ 16:30 (120 分)
多肢選択式 (四肢択一) 50 問出題して 50 問解答 (AN、PM と共通問題)	4 問出題して 3 問解答	論述式 (小論文) 3 問出題して 1 問解答

#### 5. 試験の手続日程

	秋期
試験実施日	10 月第 3 日曜日
願書の受付	7 月中旬から約 1 か月間
受験手数料	5,100 円 (税込み)
合格発表	試験実施の約 2 か月後